

『地域に貢献できる専門的な技術を身に付けた

ものづくりの人材育成』広島県

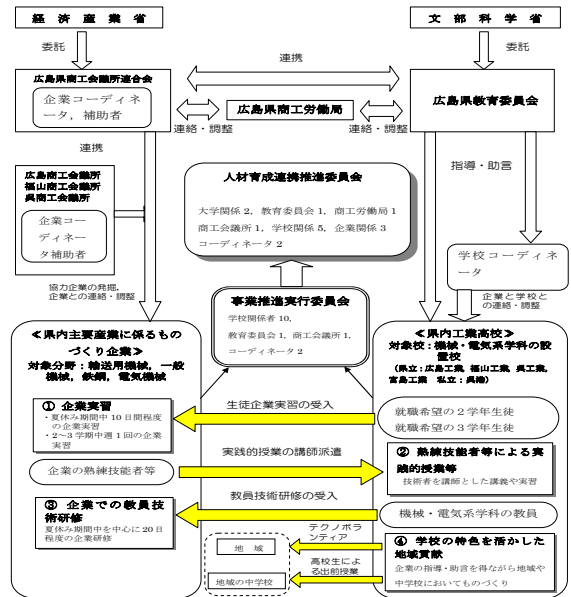
事業実施機関…広島県教育委員会・広島県商工会議所連合会
 連携省庁…経済産業省中小企業庁
 取組校…広島県立広島工業高等学校・広島県立福山工業高等学校
 広島県立呉工業高等学校・広島県立宮島工業高等学校
 広島県立武田学園呉港高等学校

事業目標

ものづくり人材育成の拠点となっている工業高校において、企業現場や熟練技能者等のノウハウを最大限活用しながら、企業ニーズに対応した実践的な教育プログラムの開発・実施を行うとともに、地域や学科の特色等に応じたものづくり人材育成のための教育課程や専門高校と地域産業界の連携方策等の検討を行い、ものづくり人材育成モデルを構築する。

事業の概要

広島県の産業の特色である輸送用機械、一般機械、鉄鋼、電気機械関連の産業分野を中心に、これらの産業と関係の深い「機械系学科」、「電気系学科」を設置する高校において、専門高校と地域産業界が連携（協働）して、「実践的な企業実習」、「熟練技能者等による実践的指導」、「教員の企業での高度技術研修」等を実施し、ものづくり人材育成のための学習プログラム開発に向けた研究を行う。



事業内容と成果

《熟練技能者による学校での指導》

内容 ①取組校5校の第1学年を対象にした熟練技能者等による基礎指導

平成21年度の実習内容は、「旋盤」、「鋳造」、「電気工事（第二種）」、「リレーシーケンス制御」、「溶接」の5分野で、生徒の参加人数は772名であった。実習形態は、10名を一つのグループとし、1クラス当たり4グループを編成し、1グループ当たり3時間の実習を実施した。

②取組校5校の第2学年を対象にした熟練技能者等による実践指導

平成21年度の実習内容は、「旋盤」、「電気工事（第一種・第二種）」、「PLC制御」、「溶接」、「ITパスポート」の6分野で、生徒参加人数が363名であった。実習形態は、10名を一つのグループとし、1クラス当たり4グループの編成を基本形態とし、1グループ当たり3時間の実習を6回実施した。

成果 ①日頃見ることができない、熟練技能者の技術・技能を見たことで、仕事に対する姿勢、特に誠実さや正確さ、集中力などを感じさせることができた。

②直接、技術指導を受けたことで、作業の基本的な技術・技能の一端を身に付けることができた。

③熟練技能者の高い技術に触れ、「ものづくり」に対する意欲を高めることができた。



《生徒の企業実習》

内容 ①第2学年生徒の企業実習

生徒は、10日間程度の企業実習を行っており、平成19年度は76名、平成20年度は290名、平成21年度は282名が実習に参加した。受入企業は、平成19年度は26社、平成20年度は82社、平成21年度は79社であった。

②第3学年生徒の企業実習

科目「課題研究」において、10月から4か月間、週1回半日の企業実習を行った。

成果 ①仕事やものづくりに対する意識を向上させることができた。

②専門的な技術・技能を身に付けるとともに、作業現場における安全対策の重要性について学ぶことができた。



《教員の高度技術習得》

内容 教員が実際の企業現場の技術・技能を習得し、熟練技能者等から学ぶことにより、授業において質の高い技術・技能指導を行うための指導力向上を図った。平成21年度の受入企業は13社、参加教員は13名で、研修期間は、20日間を基本とし、指導マニュアル等の作成を行った。

成果 ①教員の技能士取得者数が増加した。

- ②各企業で徹底されている安全教育を各所属校で実施した。
- ③教員が企業において高度な技術・技能の研修を受けたことにより、教員のスキルが向上し、教科「実習」等で実践された。
- ④企業との連携が綿密に図れるようになった。
- ⑤科目「実習」の指導書の作成に反映された。



《学校の特色を活かした取組み》

◎中学校ものづくり教室

内容 福山工業高校、宮島工業高等学校の生徒が、地元の中学校に向き学校で学んだ技術・技能を活用して、ものづくりのおもしろさを中学生に体験させた。

成果 ①中学生のものづくりに対する意欲の向上につながった。

②高校生が、1・2年次に学んだ技術・技能等の確認ができた。

◎知的財産権を取り入れた実践的なものづくり人材育成

内容 発明協会広島県支部の指導の下、知的財産権の知識を養った。

成果 特許に関する基礎知識を調べる方法を知っている生徒が増加した。

◎テクノボランティア活動

内容 習得した技術、技能を活かし、地域の社会福祉施設、幼稚園、小中学校等の施設が求める設備修繕のボランティア活動を実施することにより、技術・技能の習熟度の向上を図った。

成果 設計から製作までの工程を経験し、工夫をすること、協力して作業を行うことの大切さを再確認できた。

地域の方の喜んでいる姿を見て、ものづくりの楽しさを実感することができた。



連絡先 ○広島県教育委員会事務局教育部指導第二課
〒 広島県広島市基町9-42
TEL (082) 513-4998 Fax (082) 222-1468
URL: <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/kyouiku/hotline>
○広島県商工会議所連合会
〒 広島県広島市中区大手町3丁目3番27号
TEL (082) 247-0221 Fax (082) 249-0565
URL: <http://www.active-hiroshima.jp>